

キューバ

主要データ

国名〔英名〕	キューバ共和国〔Republic of Cuba〕
面積(km ²)	110,860
海岸線延長(km)	3,735
人口(百万人)	11.1
人口密度(人/km ²)	100.1
GDP(百万US\$)	62,075
一人当りGDP(US\$)	5,596
主要鉱産物：鉱石	ニッケル
主要鉱産物：地金	ニッケル
鉱業管轄官庁	基礎産業省(Ministerio de la Industrias Basicos)
鉱業関連政府機関	国家鉱物資源事務所(Recursos Minerales de Republica de Cuba)
鉱業法	鉱山法(Ley No.76 de 1995; Ley de Minas) 広域調査、探査、探鉱の期限は各々1年、2年、1年。 採掘鉱区の期限は25年(25年の延長が可能)。
ロイヤルティ	鉱山法第75条～83条 金属については3～5%のコンセッション付与時点で決められた金額
外資法	外国投資法(Ley No.77 de 1995; Ley de Inversión Extranjera) 外資100%の参入が可能。
環境規制法(環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等)	環境法(Ley No.81 de 1997; Ley de Medio Ambiente) 環境影響評価の実施が義務付けられている。
鉱業公社	ニッケル公社(Union de Nickel)、地質鉱山公社(Union de Geominera)
鉱業活動中の民間企業	Sherritt International 社等
近年の鉱業関連問題(資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等)	米国による制裁措置(Helms Burton 法)。 深刻な電力不足。
2010年のトピックス	外資の動きは低調で、大きな動きは無い。

1. 鉱業一般概況

キューバの主要金属鉱物資源は、ラテライト型鉱床中のコバルト及びニッケルで、それぞれ世界第3位、第5位の埋蔵量を有する。一方、コバルト及びニッケルの生産は、1959年のキューバ革命以降、東側諸国の技術・資本で開発・生産が開始され、その後カナダ企業により生産が行われたが、埋蔵量に比べて規模が小さく、2010年のコバルト鉱石生産量は World Metal Statistics Yearbook 2011 (WMSY2011) の統計ではゼロ (Sherritt 社の HP によれば多少の生産はある)、ニッケル鉱石生産量は世界第8位、同地金生産量は世界第11位に留まっている。その他、わずかではあるが、鉄鉱石も生産されている。

キューバ政府は、1990年以降の東側経済圏の崩壊を機に、西側諸国資本によるニッケル鉱業の活性化を図ることとし、1993年以降、外資への有望鉱区公開、外資導入促進等のための鉱業法改正、製錬所への外資導入・合併企業設立を行い、欧州・カナダ・豪州等の企業による探鉱活動も見られるよう

になった。また、中国企業参入の動きもあった。

ニッケル公社 (Union de Nickel) とカナダの Sherritt International Corp. の合併事業である Moa Bay 鉱山では、拡張プロジェクト (mix sulfide の生産能力を 3 段階で 33,000t/年から 49,000t/年に増強) を実施中である。2008 年 Q2 に Phase I (4,000t/年の増産) が完了したが、ニッケル価格の低迷のため、Phase II (9,000t/年の増産) は 2008 年 Q4 から中断している。

現在、キューバ政府は規制緩和策等も打ち出しているが、対米関係を巡る先行きや経済情勢に依然不透明感がある中、上記カナダとの合併事業を除くと外資の動きは概して低調であり、2008 年以降、ニッケルの鉱石生産量が減少してきている。

なお、クロムの鉱石生産量は、WMSY2010 までは、長期に亘り全く同じ数字が書き込まれていたが (「世界の鉱業の趨勢 2010」において、統計の信憑性を指摘していた。)、WMSY2011 においては、過去に遡って 2008 年以降ゼロとなっている。

2. 鉱業政策の主な動き

特になし

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要金属鉱石生産量

表 3-1. 金属鉱石生産量

鉱種	2008 年	2009 年	2010 年	対前年増減比 (%)
ニッケル(千 t)	70.5	65.0	65.4	0.6
クロム(千 t)	—	—	—	—
鉄(千 t)	279	267	未発表	—

(出典: World Metal Statistics Yearbook 2011、Steel Statistical Yearbook 2010)

(注) WMSY2010 においては、2009 年までのクロムの生産が毎年 5 万 t になっていたが、WMSY2011 において、2008 年以降ゼロに修正された。

(2) 主要金属地金生産量

表 3-2. 金属地金生産量

鉱種	2008 年	2009 年	2010 年	対前年増減比 (%)
ニッケル(千 t)	34.9	31.4	31.4	0

(出典: World Metal Statistics Yearbook 2011)

(3) 主要金属消費量

データなし

(4) 主要金属輸出量

データなし

(5) 主要金属輸入量

データなし

6. 我が国との関係

(1) 日本への輸出

キューバから日本へのニッケル製錬中間生産物の輸出は2003年から開始された。輸出量(額)は2003年21t(2,000万円)、2004年84t(1億600万円)、2005年231t(3億3,300万円)と順調に増加し、2005年にはキューバの対日輸出額の約10%を占めるまでになった。しかしながら、2006年の輸出量(額)は21t(2,600万円)と大幅に減少し、更に2007年以降、輸出はゼロとなっている。この原因としては、米国による対キューバ経済制裁(ヘルムズ・バートン法)でキューバから輸入したニッケルを用いた製品の米国向け輸出が認められていないためと考えられる。

(2) 日本企業による投資状況等

特になし

7. その他トピックス

特になし

(2011.7.22 メキシコ事務所 高木博康)